



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



9月25日、音江小学校で花育授業が行われました！JA管内の花き生産者指導のもと、児童12名が花の収穫とフラワーアレンジメントを体験しました♪

→記事の詳細は5ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA.KITASORACHI

目次

- 秋のふかがわライスカーニバル
こめっち新米&そばフェスタ 2
- 1市3町へ令和6年産米の作況報告・新米贈呈 ... 4
- 「百農社」社員研修
おむすびづくり・生産者とのディスカッション... 8
- 営業時間変更のお知らせ 11

秋のふかがわライスカーニバル こめっち新米&そばフェスタ

10月20日、「～秋のふかがわライスカーニバル～こめっち新米&そばフェスタ2024」が深川市の生きがい文化センター前特設会場で開催された。

開会にあたり、同イベント実行委員長の田中昌幸深川市長が、「今年は初の試みで1,300個の深川産新米塩むすびを日の出会館様に握っていただきお配りしている。今日は寒い中ではありますが、ぜひおにぎりとおわせて深川のそばや深川牛など美味しい農畜産物を買って・食べていただければ」と挨拶した。

会場では、深川産新米の特価販売が行われ、ふかがわまい生産組合が「令和6年産の美味しい新米はいかがですか」と穫れたての新米をPRしながら販売した。

またボランティアグループあみていえが深川産の農畜産物をふんだんに使用した豚汁を100円で販売し、開始から1時間ほどで約300食が完売となるほど大好評だった。さらに小学生以下にミニトマトの詰め合わせを無料配布するなど大盛り上がりのブースとなった。他にも深川産手打ち新そば、深川牛、ふかがわポークの販売や野菜の袋詰め販売、新米おむすびの無料配布などもあり来場者は深川産の農畜産物を食べ、家族や友人とイベントを楽しんだ。またお米をテーマにしたアトラクションも企画され、新米すくいどりやお米重量当てゲームなどには多くの家族連れなどが参加し大行列となった。

同イベントに訪れた女性は「新米目当てで来たが野菜やりんご、そばや牛肉など食べきれないほど美味しそうなものがたくさんあって驚いた。しかもどれも安くて最高です」と笑顔で話す。



道の駅ライスランドふかがわ大収穫祭



10月13日、深川市道の駅「ライスランドふかがわ」で『大収穫祭』が開催され、大勢の来場客で賑わった。

大収穫祭では、200食限定の「新米カレーライス」の他に、道の駅の各テナントでイベント限定特別メニューの販売や特価での販売が行われた。

当JAでは、ふかがわ肉牛組合による「深川牛の焼き肉」とふかがわまい生産組合による「深川産新米『ふっくりんこ』のすくいどり」を屋外特設会場で開催した。同肉牛組合のブースでは用意した焼き肉15kgが完売。新米すくい取りは一度も来場客の列が途切れることがなく、この日用意した「ふっくりんこ」300kgが開始からわずか2時間でなくなるほど大好評だった。

また道の駅各店で買い物した金額に応じて参加できる「ふかがわ秋のオイシイ抽選会」も行われ、美味しい特産品を求めて館内でもたくさんのお客様が買い物を楽しんでいた。



雨竜町の秋の味賞を 「秋の大収穫感謝祭・新米祭り2024」

9月29日、雨竜町道の駅「田園の里うりゅう」で「秋の大収穫感謝祭・新米祭り2024」が開催された。

この日は、うりゅう米の新米が特価で販売されることもあり、心待ちにしていた来場客が開場前から長い列をつくり、「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の5kg袋や10kg袋をいくつも購入していた。

当JAの岩田清正組合長や遠藤清明雨竜地区代表理事などJA役職員が店頭に立ち、「どこよりも早いうりゅう米の新米販売です」と呼び込みPRを行った。今年の新米販売では、前年を大きく上回る約5000kgを売り上げた。

また会場では、先着150人限定で新米のすくい取りや計100kgの餅を撒く「大もちまき大会」、厚岸漁協直売店による海産物販売などが行われ大勢の来場客で賑わった。



北竜ひまわりライス 新米大感謝祭



9月28日、北竜町農畜産物直売所「みのりっち北竜」前で「北竜ひまわりライス新米大感謝祭」が開催された。

この日は、北竜ひまわりライスの「ななつぼし」「ゆめぴりか」「おぼろづき」「きたくりん」、もち米「風の子もち」の新米が特価で販売されることもあり、開場前から来場客が長い列を作り、穫れたての新米を買い求めた。

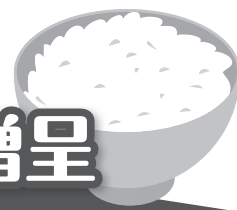
同イベントの実行委員である北竜ひまわりライス生産組合の生産者や、JA永井稔北竜地区代表理事などJA役職員が店頭に立ち販売。新米はうるち米・もち米あわせて1,620袋(7,530kg)用意され、販売開始から1時間で完売するものもあった。

会場では、「北竜ひまわりライスの新米」や「燦燦ひまわり油」など町の特産品が当たるガラポン抽選会や、直売所内で行われた採れたて野菜などの特価販売も人気を集めた。

また昨年同様、浜頓別町のホタテと毛ガニの販売も別ブースで行われ、イベントは大盛況であった。



1市3町へ 令和6年産米の作況報告・新米贈呈



10月7日、岩田清正組合長をはじめJA常勤役員が深川市・雨竜町・北竜町・幌加内町を訪問し、令和6年産米の作況報告と新米贈呈を行った。

深川市では、深川産新米「ふっくらんこ」5kg、「ゆめぴりか」5kgを手渡し、受け取った田中昌幸深川市長が「今年も美味しい新米を作って下さりありがとうございます」とお礼を述べた。

岩田組合長は6年産米の作況について、「今年の米はタンパク値が低くシラタ（成熟していないお米）も少ない。昨年と比べて品質も収量も良好だった。来年も美味しい新米を届けられれば」と報告した。



深川市



雨竜町



北竜町



幌加内町



田中深川市長

市内米検査場を巡回視察

9月17日、田中昌幸深川市長による市内米検査場の巡回視察・表敬訪問が行われ、田中市長は当JAの集出荷施設5か所にて、令和6年産米の集荷状況等を確認した。

深川マイナリーでは、JA販売部職員が令和6年産米における品質やタンパク値などの概況、集荷作業の進捗状況を報告。その後、田中市長は稼働中の施設内に入り、JA職員による下見検査や荷受操作などを視察した。

田中市長は、「昨年のような高温障害も無く、品質・量ともに良好ということで安心。美味しい新米を楽しみにしている」と話す。



深川市の小学校で 稲刈り体験学習



農業
振興部



9月13日 北新小学校（松本孝一氏宅）



9月17日 深川小学校（農業センター）



9月17日 音江小学校（石川大輔氏宅）

深川市内の小学校6校で、9月13日から稲刈り体験学習が行われた。児童たちは5月に田植え体験を行っており、稲刈り体験では児童たちの手で植えた稲を青年部員や受入農家から丁寧な指導を受けながら鎌で手刈りを行った。児童たちは「腰が痛くなったがとても楽しかった。農家の人の苦勞がわかりました」と作業を楽しみながらも食べ物を栽培する苦勞を学んだ。



9月18日 納内小学校（尾崎成宣氏宅）



9月19日 一已小学校（農業センター）



9月25日 多度志小学校（竹内誠氏宅）



音江小学校「花育授業」



子どもたちが花と触れ合いフラワーアレンジメント

北空知
広域連

9月25日、北育ち元気村花き生産組合 音江支部（内藤敬人支部長）が深川市立音江小学校3・4年生を対象に「花育授業」を実施した。

同授業は、当JA管内で花きの生産が盛んな音江地区の子ども達に実際に花に触れて身近に感じてもらうと毎年趣向を変え実施しており、今年で6年目を迎える。

今年は3・4年生12名が参加し、田中亮嗣さん（音江地区）の圃場でスターチスの収穫作業と選花作業を体験、それぞれ好きな色のスターチスを収穫し持ち帰り用の花束をつくった。

その後、同小学校のホールでは2班に分かれて2つの大きなフラワーアレンジメントを制作した（表紙写真）。指導は内藤支部長を中心に同支部の会員12名が行い、花材の切り方や挿し方、アレンジメントを綺麗に制作するための空間の使い方などを児童に説明した。アレンジメントには、同支部が花材として提供したダリアやひまわり、シニアータ、鈴バラなどが使用され、児童は好きな花を選び心を込めてフラワーアレンジメントを1時間ほどで完成させた。

参加した児童は、「毎日やりたいくらい花の収穫が楽しかった」「たくさんの種類の花があって驚いた、どれも甘い匂いがしてかわいい」と笑顔で感想を話す。

内藤支部長は「たくさんの花を提供してくれた生産者の協力のおかげで2つの大きなアレンジメントを作ることができた。子ども達にも喜んで貰えてよかった」と話す。

制作されたフラワーアレンジメントは同校の一階ホールに展示された。また、同生産組合の会員が花束を制作し、全校児童約60名に贈呈した。



ポップコーン用とうもろこしを 中学生が収穫



農業
振興部

10月3日、深川市立一已中学校3年生による「とうもろこしの収穫体験」が行われた。

同校の総合的な学習の時間では、農業に興味を持ってもらうため、複数回に分けて農作業体験が行われており、生徒らはこれまで6月に苗の定植・9月に除草作業を体験している。

この日は、生徒63人が約200㎡ある当JAの試験圃場で栽培していたポップコーンの原料となるとうもろこし「イエローポップ」を収穫した。

生徒らは、背丈よりも高くなったとうもろこし畑の中をかき分けて進み、20cmほどに生長したとうもろこしを1時間ほどかけて約550本収穫。乾燥させるために皮とひげをむいて紐で括った。

参加した生徒は「こんなにとうもろこしができるとは思わなかった」「粒がたくさんあるとうもろこしを収穫したときは達成感があった」と笑顔で感想を話した。

収穫したトウモロコシは校舎内で乾燥され、11月中旬にポップコーンに調理する予定。



第3回 JAきたそらち地域農業応援団 ～ソーセージ・アップルパイ作り&りんご狩り体験～



総務部

10月18日、第4回地域農業応援団が開催され団員18名が参加した。

今回は、音江地区の「アグリ工房まあぶ」で地元食材を使用したソーセージとアップルパイ作り、(株)藤谷果樹園(音江地区)でりんご狩り体験を行った。ソーセージ作りでは苦戦した工程もあったが、団員同士協力しながら美味しそうなソーセージを完成させた。

昼食では深川産「ゆめぴりか」「ふっくりんこ」「ななつぼし」の新米を使い品種当てクイズを行ったが、半数以上の団員が普段から「ゆめぴりか」を食べているとのことで、正解する団員も多かった。

りんご狩り体験では、同園代表取締役の田川大輔氏から栽培しているりんごの品種や美味しいりんごの見分け方など説明を受け、慎重に吟味しながらりんごを収穫した。

前回のそば打ち体験を含め、管内に美味しい食材とそれを加工体験できる施設があることを知り、参加した団員は改めてこの地域の良さを実感していた。



【総務部 墓田】



JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第3回「東野ひでき北海道後援会」の取組み

組織内候補者を擁立して臨んできた過去5回の参議院選挙比例区では、各組織等が精力的に取り組んだ結果、候補者は当選を果たしてきたものの、残念ながら選挙の度に大きく得票数を減らしております。

得票数減少の様々な要因はあるものの、前回選挙の総括では(ア)選挙の意義を組織構成員に伝え機運醸成する組織力の低下、(イ)世代交代や情報発信・接点等不足による候補者の認知度の低下、(ウ)職員、組合員や青年部・女性部盟友等への浸透・徹底不足、(エ)事務局体制の脆弱化等が主な要因としてあげられております。

こうした要因と危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが必要不可欠であります。農業・JAを取り巻く厳しい状況下において、JAグループ北海道の政策提案を実現し、組合員の営農と生活を守るためには政治力の強化が極めて重要であります。

今後、JA役職員、組合員、青年部・女性部盟友、関係団体など東野ひでき氏を応援する者の輪を広げていくために、「なかまづくり運動」をはじめ農政学習会の開催、SNSでの発信等を繰り返し広げてまいります。

ひできのなかまづくり運動

【ひ】…ひとりでも多く!

【で】…できることから!

【き】…きょうから始めよう!

各々が東野ひでき氏支援を依頼する「なかま」を確実に2名以上特定し、さらに、「なかま」1名につき、新たに2名以上の「なかま」を特定し、「なかま」を広げていきましょう。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。
次回(第4回)は、農政活動の仕組みについて紹介します。

東野ひでき北海道後援会

「元気になる合宿 in北海道深川市」



ハロウィンカボチャのランタンを作ろう！

農業
振興部

10月2日、合同会社ココ企画（東川町）のツアー参加者4名が当JAでハロウィンカボチャのランタンづくりを体験した。

ココ企画では、北海道旭川エリアの自然や農業、林業、地場産業、グルメなど様々な視点から北海道の魅力を伝える企画を展開している。今回は、「元気になる合宿 in北海道深川市」と題した3泊4日のツアーが行われ、参加者は日々の忙しさから離れて食事と運動と体験を通して心身ともに健康になることを目的に深川市に訪れていた。

この日は、当JAの会議室でハロウィンカボチャのランタンづくりが行われた。直径25cmほどのかぼちゃのツル側を一部切り取り、中身の種や綿を丁寧に取り出したあと自分でデザインした顔のパーツをくり抜いた。顔のパーツをくり抜く際には丸や曲線に苦労しながらも参加者同士声を掛け合いながら完成させた。

参加者は「思っていた以上に曲線を切るのが難しかったが可愛くできてよかった」「不器用な私でも上手にできた。家まで持って帰りたい」と感想を話す。



香港「百農舎」の社員研修

～おむすびづくり・生産者とのディスカッション～

販売部

10月7日、ふかがわまいの輸出販売先である「百農舎」（香港）が当JAで社員研修を行った。

「百農舎」は日本産米を使用した「おむすび」を販売する会社で、香港を中心に中国など現在150店舗を展開。令和5年産の実績ではふかがわまい「ふっくりんこ」を約216t契約している。

今回は「百農舎」の社員30名が当JAを訪れ、農作業体験としてメタンガス発生抑制につながるとされている「稲刈り後圃場の秋起こし」をスコップを使用し手作業で体験。その後、当JAの会議室でふかがわまい「ふっくりんこ」を使っておむすび作り体験と生産者とのディスカッションを行った。

はじめに当JA職員が米の握り方のレクチャーを行い、参加した社員は三角に形を整えながら握ることに苦戦しつつも社員同士で楽しみながらおむすびを完成させた。その後の昼食で、自分で握ったおむすびと用意された味噌汁を味わった。

続いて行われた生産者とのディスカッションでは、ふかがわ米生産組合の伊藤裕美組合長（一已地区）と川中孝之会計（納内地区）が社員の質問に回答を行った。社員からは「温暖化が進む中で美味しい米作りを続けるためにどんな工夫がされるのか」「皆さんにとって『おむすび』とは？」など積極的な質問が多くあがり、おむすびについて伊藤さんは「究極のファストフード。手軽でいつでもどこでも食べられる。中の具を変えればいろんな味を楽しめる。現代の忙しい人に非常にあっているのではないか」と話し、川中さんは「自分の作った米の美味しさを人に見てもらおうための武器。また子どもが料理として初めて作ってくれた家族の大切な思い出」と語った。

最後に伊藤さんは「百農社の皆様には本当に感謝しかない。また来年も美味しい米作りを頑張っていくので、美味しいお米を香港、中国の皆さんに届けて頂きたい」と話した。



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会
代表理事会長 樽井 功



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で77年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

近年の農業・農村を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、世界的な気候変動による猛暑や豪雨などによる各作物の収量および品質の低下、国際的な食料需給事情の変化や急激な円安の進行による生産資材の高止まりが農業経営に甚大な影響を与えております。

本年は、農政の憲法とも言われる食料・農業・農村基本法が改正され、国民一人一人の食料安全保障の確保と環境と調和のとれた食料システムが基本理念として位置付けられるなど、世界の食料需給の不安定化による輸入リスクの増大、環境問題等を踏まえた内容となっており、日本の農政は大きな転換点を迎えております。

かかる状況のもと、本年は3年に1度のJA北海道大会が開催され、将来ビジョンである【「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」～ひとを育み、ひとと歩む～】が上程されます。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識し、一丸となって大会議案を着実に実践していくことが社会からの要請に応えることにもなります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

深川西高校1年生がJAきたそらちで職場体験

10月8日、深川西高等学校1年生5名が当JAにおいて職場体験を実施した。

この職場体験は、企業と地域とのつながりや企業が取り組んでいる社会課題を知り、社会や地域についての学びを深めることを目的としている。

今回は、JAきたそらちの概要説明を受けたあと、精米施設および農産物直売所「eciR」を見学し製造から販売までの流れを学んだ。

精米施設では、学生から「大変だと思う仕事は?」「やりがいや楽しいと思うことは?」と質問され、米穀課の高木真樹課長が「生産者が作ってくれた農産物を販売先や消費者へ橋渡しする業務に携わっているからこそ、最初に『美味しかったよ』『待ってたよ』などうれしい言葉を聞くことができる。その言葉がやりがいや達成感につながる」と答えた。

参加した学生は「深川は農業が盛んだからこそ、地域へのPRや安全・安心を届けるために様々な工夫をしていることが印象に残った」と感想を話した。



滝川西高校の2年生がインターンシップ(企業訪問学習)

10月10日、滝川西高等学校2年生4名が当JAにおいて企業訪問学習を実施した。

同校では、実社会における就業体験・探究活動を通し、望ましい職業観や労働観を育成するために情報マネジメント科2年生を対象にインターンシップを実施している。

当JAの概要説明後、精米施設と農産物直売所「eciR」において午前・午後それぞれ90分間の実習を行った。最初は緊張した面持ちで作業にあたっていたが、作業後には「教えてくれた職員の皆さんが優しく、ずっと楽しかった」と笑顔で話していた。

昼食では自分好みのお米を知る体験として、当JA新米3品種の食べ比べを行い、悩みながらも普段食べているお米を見事に当てる学生もいた。

実習後は、事前に当JAについて調べたことを学生がプレゼンテーションを行い、あわせて、質疑応答をおこなった。参加した感想を尋ねると「毎日お米は食べているけど、色々な人のお陰で美味しく食べられていることに感謝したい」と話す。

【総務部 墓田】



営業時間変更のお知らせ

【金融共済部】

11月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（11月～翌年3月）		
	平 日	土曜日	日曜日・祝日
イチヤン本所	9:00～17:30	9:00～17:00	9:00～17:00
金融共済深川支所		9:00～12:00	稼働しません
金融共済音江支所		稼働しません	
金融共済納内支所			
金融共済多度志支所			
金融共済雨竜支所		9:00～12:00	
金融共済北竜支所			
北竜町COCOWA			
金融共済幌加内支所			

※12月31日及び1月1日～3日はATMは稼働しません。

※各店舗（窓口）の営業時間は

＜イチヤン本所、深川支所、雨竜支所、北竜支所、幌加内支所＞ 平日9:00～16:00

＜音江支所、納内支所、多度志支所＞ 平日 午前の部 9:00～11:30 午後の部 12:30～16:00
(11:30～12:30は昼休み＜窓口閉鎖＞とさせていただきます。)

【経済部 燃料課】

11月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（11月～翌年3月）		
セルフ	音江	8:00～19:00
	深川	
	イチヤン	
フル	納内	8:00～18:00
	多度志	
	北竜	
	幌加内	

【道の駅農産物直売所 eciR】

11月から直売所の営業時間が下記の通りとなります。

直売所営業時間（11月～翌年3月）
9:00～17:00



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



@JA.YOUTH_FUKAGAWA



@URYU_SEINENB

青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！

JA職員 農作業実習報告 第1回

当JAでは、人財育成プログラムの一環として、入組2年目の若年職員を対象とした農作業実習を実施いたしました。近年、農家子弟以外の新規採用職員も増え、農業に対する接点も乏しいことから、農業体験を増やすこと、さらに組合員の想いを直接職員へ伝えていただくことを目的に、JA非常勤役員宅にて実習をさせていただきました。各実習生の感想と今後の抱負を第1回から第3回に分けて掲載しご報告させていただきます。

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
販売部農産課 長場 夏太 (令和5年4月入組)			
①幌加内支所 田丸利博 地区代表理事		②令和6年5月14日～5月18日	
③田植え作業 (田植え機補助、苗渡し)			
④田丸地区代表理事宅において田植え作業を体験させていただきました。業務上、水稻に関わることがないことから、分からないことばかりの状況でスタートしましたが、丁寧に教えていただき無事実習を終えることができました。 一番苦労したことは、苗渡しや田植え機に乗り苗の補充を行う作業で、苗を補充するタイミングや枚数を調整し効率よく行うことが難しく感じました。 田植え作業に参加させていただいたことで、田植え機に乗れたこと、一直線に綺麗に苗が植えられていくのを目の前で見ることができたことはとても印象に残っています。 田丸地区代表理事をはじめ、ご家族の皆さんには、本当に貴重な体験をさせていただきました。 ありがとうございました。			
			
深川支所営農課 近江 陽斗 (令和5年4月入組)			
①深川支所多度志地区 遠藤良明 地区代表理事		②令和6年5月13日～5月17日	
③田植え作業、肥料運搬、除草剤散布補助			
④遠藤地区代表理事をはじめ農事組合法人 米道産の皆さまのお陰で、田植え作業など普段体験することができないことをさせていただきました。 特に苦労したことは、肥料運びや苗はがしなど力仕事を1日中行うため、筋肉痛に耐えながら作業を行ったことです。 米道産の田植え作業では、広大な面積を多くの人が分担して作業を行っており、作業進捗の情報共有等、従業員の連携が作業効率を上げることに繋がることを学びました。 今回の農作業実習を通して、農業法人の経営のご苦労を感じました。土地が広くなるほど作業時間が増え、多くの費用と人材が必要になってきます。その中でどのように人を配置し、1日の作業をどのように進めるかを考えることが効率の良い経営に繋がることを教えていただきました。 このような機会を与えてくださり、ありがとうございました。			
			



①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
総務部総務経理課 亀島 健吾 (令和5年4月入組)			
①雨竜支所 遠藤清明 地区代表理事、 宮武 稔 監事	②令和6年5月21日～5月27日		
③田植え作業(苗はがし、運搬、苗箱洗浄、田植え機補助など)			
④遠藤地区代表理事宅に3日間、宮武監事宅に2日間と短い間でしたが、農作業実習を受け入れてくださりありがとうございました。実家が農家ではないため、全ての農作業が初めてで慣れるまで大変でしたが、農作業の様々なことを教えてくださり、改めて生産者のご苦勞を知る貴重な体験をさせていただきました。			
期間中、作業だけではなく田植え機の機能や仕組み、他に植えている農作物のことなど多くのことを教えてくださり、また収穫体験もさせていただきました。			
日頃事務作業を主にやっている自分としては、体を動かすことがあまりないため体がとても痛くなりましたが、本当に楽しく作業をさせていただきました。皆さんが分かりやすく、優しく指導してくださったおかげです。本当にありがとうございました。			
今回の研修で学んだことをこれからの業務に活かしていきたいと思います。			
雨竜支所営農課 中村 紘大 (令和5年4月入組)			
①雨竜支所 遠藤清明 地区代表理事、 宮武 稔 監事	②令和6年5月21日～5月27日		
③田植え作業(苗はがし、運搬、田植え機補助)			
④遠藤地区代表理事、宮武監事そしてご家族の皆様には、私が不慣れな中、丁寧にご指導いただきありがとうございました。			
実際に田植えを経験し、その中で田植えの手順や方法、適正な苗の長さなど多くのことを学ぶことができました。			
田植え機に乗り、苗のポットを補給するタイミングを見計らうことが一番苦勞しました。そして今回は、強風や雨など悪天候の中での作業でご苦勞されていましたが、そのような状況におかれても効率良く作業を行われていたことは印象に残っています。			
私はこれまで本格的に農作業を行ったことがなかったため、農作業実習では水稲に対する理解を深めることができ、この知識を今後の業務に活かしつつ、更に知識をつけていく所存です。			
実習中、両家のご家族が美味しい昼食までご用意してくださったことなど、本当にお世話になりました。ありがとうございました。			

溶連菌とは何ですか??

津田こどもクリニック 院長 津田 尚也



まず溶連菌は正式には溶血性連鎖球菌の略ですが、そういう名前の細菌が主にのどに感染して、のどが痛くなったり、熱が出たり、場合によっては体や手足に発疹がでたり（猩紅熱といいます）します。あまり咳や鼻水は出ません。口の中が特徴的で、舌が莓のように赤く、ぼつぼつしてきます（はじめは白くなります）。扁桃に膿がつき、のどはかなり赤くなります。出血斑という赤いぼつぼつが口の奥にみられたり、首のリンパ節が腫れることも多いです。とびひの原因ともなります。

何が問題なの??

この感染症自体は抗生剤を飲めばすぐによくなります。しかし、よくなくなったところでやめてしまうと再発したり、最も問題なのは続発症として、リウマチ熱や腎炎を起します。発症は2〜3週間後です。ですから、続発症を予防するという点でも溶連菌をしっかり殺しておく必要があります。必要な抗生剤の投与期間は最低7〜10日間です。決められた量をしっかりと内服して下さい。そして腎炎というのは見た目ではわかりにくいので、必ず約1ヶ月後に尿の検査を受けるようにして下さい。それ以外にも腎炎の症状が出てきた場合はその時点で受診して下さい。腎炎の症状は、むくみ（浮腫）、血尿（赤ではなく、黒っぽい尿です）、頭痛（高血圧による）などです。

対策は??

発熱がある、またのどの痛みが強い場合、まず診察を受け、のどの所見より溶連菌感染症が疑われたら、のどの細菌検査をうけます。これはのどに綿棒のようなものをいれ、細菌をとってくる方法です。即時反応というものがあり、溶連菌だけを見るのであれば15分くらいで結果は出ます。他の細菌と一緒にいるか、抗生剤の効き具合はどうかの検査結果はでるまでに4〜5日間かかります。そこで溶連菌がいることがわかった場合、または溶連菌が疑われるときには抗生剤の内服を始めます。必ず決められた量をしっかりと飲むようにして下さい。基本は7〜10日間以上です。そして一ヶ月後に尿の検査に来てください。

のどの細菌検査をしても結果を聞きに来られないで、実は溶連菌が出ていたということを何度か経験します。必ず結果を聞きに来られて、溶連菌がいたかどうかを確認していただきたいと思います。

伝染性は? 保育園や学校は? 予防接種は??

主に家族や学校のような濃厚な接触がある場合にうつります。ですから兄弟、両親に同じような症状がある場合は受診してのどの検査を受けてください。また学校保健法では溶連菌感染症は「条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる疾患」に分類されます。基本的には抗生剤内服後24時間以上たっていれば伝染性はほとんどなくなるので、受診した当日とその翌日は少なくとも登校禁止となります。その後は本人の症状がなければ可能となります。2日以上たつても熱が下がらないときは必ず再受診して下さい。

劇症型溶連菌感染症（入食バクテリア）

溶連菌の中に劇症型というものがあり、日本では1992年にはじめて報告され、現在までに100人以上の患者が確認され、約30%が死亡するという重い病気です。この疾患は元気な人に突然発症し、急激に進行します。数十時間で足などが腐り、腎不全、ショック状態になります。30〜70歳代の大人に多いのですが、小児でもみられます。滅多にない病気ではありますが、今程医療が進んだ世の中でも健康な人が感染症で死ぬという怖い病気があるものだと感じます。

この溶連菌感染症は風邪でただ抗生剤投与をうけるだけではいけないという代表的な感染症だと思えます。内服すれば数日でよくなるのですが、しっかりと診断を受け治療しないと再発したり、腎炎になったりします。のどの細菌検査は本人にとつてつらいのですが、診断・治療という過程において必要不可欠と考えます。

厚生労働省からのお知らせ



必ずチェック!
最低賃金!

働く人と雇う人のための
ルールです!

北海道 最低賃金

令和6年
10月1日から
時間額

1,010 円

前年比
50円 $\leq$
UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。



最低賃金に
関する
特設サイト



最低賃金 特設サイト

検索

最低賃金に関する
お問い合わせは
北海道労働局または
最寄りの労働基準監督署へ



北海道労働局

検索

賃金引上げ
特設ページ

賃金引上げに向けた
支援策等を掲載しています。



賃金引上げ特設ページ

検索

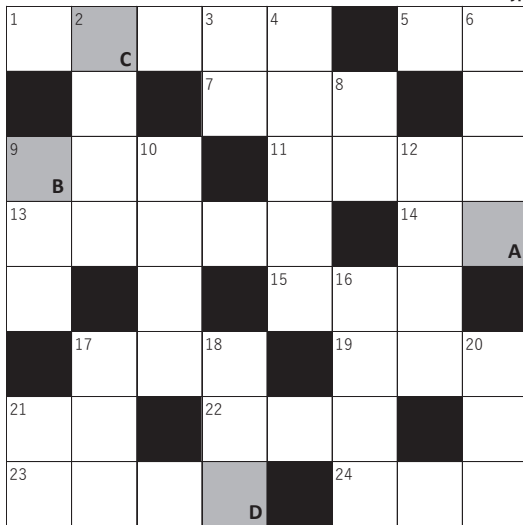
中小企業事業者の皆さんへ

業務改善
助成金

最大
600万円を
助成

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

【タテのカギ】

- 2 伝えたい事がら。用事。「○○○
○を伝える」
- 3 金額などを自動的に計算して記
録する機械。
- 4 歯にはさまった食べ物をつつ
いて取り除く細くて小さな棒。
- 6 樹木や竹を切り倒すこと。
- 8 一けた同士の掛け算の一覧表や
暗記の仕方。
- 9 物事を考えたり、見極めたりす
る能力。知能。「○○○豊かな人」
- 10 むかし。過ぎ去った古い時代「○
○○○の文化」
- 12 池や小川に住み、水の上を長い
足ですべるように動く昆虫。
- 16 結婚の仲立ちをする人。
- 17 会や式などがうまくいくように、
進行を受け持つこと。またそれ
をする人。
- 18 普通とは違った様子。「○○○な
光景」
- 20 つめを英語で。つめにカラーや
デザインを施すおしゃれ。
- 21 入れ物などの口にあてがって、ふ
さぐもの。「臭い物に○○をする」

【ヨコのカギ】

- 1 はげしく強いさま。「○○○○○
なにおい」
- 5 父や母の女のきょうだい
- 7 映画やテレビで、題名・配役説明
などを文字で表したものの。
- 9 土地の形。
- 11 その次の日の朝。
- 13 ひそかに入り込むこと。忍び込む
こと。「○○○○○捜査」
- 14 兄弟姉妹の娘。
- 15 二番目に生まれた男の子。
- 17 市が運営すること。
- 19 細くて小さな骨。
- 21 卵がかえること。卵をかえすこと。
- 22 物事がこの先どうなるか、前もっ
て見当をつけること。「○○○外」
- 23 相手や周囲の状況に応じて物事を
行うこと。
- 24 らせん状の刃を回転させて穴をあ
ける工具。

9月号の正解は

「シンマイ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深 川 市 齊藤 和枝 様
深 川 市 渡邊 貴子 様
札 幌 市 三鍋千恵子 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切11月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年1月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



十月俳句

●土筆俳句会

面会も思ふにならずちろなく
今月は誕生月や秋刀魚焼く
秋晴れや一人の昼餉カツ麺
房葡萄ほぐす指先夕陽映え
友逝きて風の彼方や鰯雲
エスコンへ逸る気持ちやナナカマド
エプロンの秋色添えるアップリケ
山の幸皆と分け合い茸汁
芒にも小町が居たり我居たり

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

●「道」俳句会 北電支部

片づけてお礼肥やしや花圃の秋
倒伏の稲刈り終えて倒伏寝
争わず付かず離れず枯芒
米足りぬ重み増すかに今年米
緋美し献上米を刈る乙女
ボンボンと土にはじめて小豆引く
寛容になるや色なき風の中

山本 玲子
山岸 正俊
阿部れい子
山下 好晴
宮脇美和子
佐藤美智子
吉尾 広子

●雨電俳句会

薯掘れば美人不美人皆個性
団栗の落ちて弾んで自由哉
子の帽子一休みする蜻蛉かな
亡き人の好物供え秋彼岸
稲刈や米騒動に急かされて
寺参り毬栗二つ庭にあり

北川 満江
小山 邦男
佐々木待子
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

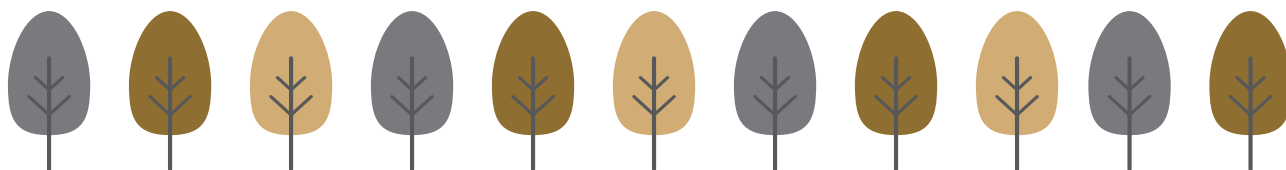
第9回理事会〈令和6年8月29日開催〉以下の事項について決議・承認されました

報告事項

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 財務報告及び事業実績について
5. 外部出資の払い戻し（有価証券の処分）について
6. 職員の人事及び業務事故について
7. 第31回JA北海道大会への参加について
8. 貸出金の貸付報告について
9. 令和6年度JA共済コンプライアンス点検結果について
10. 9月25日うるち米全道共計運営会議の内容について
11. 令和6年産米集荷状況について
12. 米在庫状況（8月末）について
13. 令和6年産農産物の集荷状況について
14. 令和6年度 畜産物の販売実績（8月末）について
15. 販売未収金について
16. 青果・花き集荷販売実績について
17. 経済部事業実績について

提出議案

- 議案第1号 令和6年度上半期棚卸立会及び上半期決算定期監査の結果について
- 議案第2号 半期ディスクロージャーについて
- 議案第3号 リスク評価書の改正について
- 議案第4号 理事に対する貸出承認について
- 議案第5号 令和6年産米 生産者概算金の設定について
- 議案第6号 令和6年産共計大豆の概算金設定について



組合員の動き

（令和6年9月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,197	10	33	1,174
	団体	106	4	0	110
准組合員	個人	5,398	78	42	5,434
	団体	268	2	0	270
正組合員戸数		853	1	19	835



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和6年9月実績

○累計（R5.12～R6.11）

発電電力 **61,129kWh** 発電電力 **487,881kWh**

計画対比 +20,284kWh

計画対比 +119,892kWh

前年対比 +11,052kWh

前年対比 +45,594kWh

売電金額 2,445,160円（40円/kWh）

金融共済部からのお知らせ

農業者の皆さまへ

農業を取り巻く

JA共済

2つのリスクに備えられていますか？

賠償責任のリスク

農業に伴う賠償責任リスク

農薬散布中に…隣接する畑に飛散し、玉ねぎが生育不良となった。



損害賠償額例
約510万円

借用したロータリーで作業中に…圃場ののり面に衝突し、ロータリーを破損させた。



損害賠償額例
約30万円

出荷した生産物が…小麦にソバが混入しており、販売先から賠償金が請求された。



損害賠償額例
約220万円

JA共済連調べ

農業に伴う賠償リスクに備えるには…



農業者賠償責任共済

ご契約例

支払限度額 5,000万円コース
農地面積 4ha以上20ha未満

共済掛金

年間21,010円

日常生活に伴う賠償責任リスク

自転車の事故

子どもが公園で自転車を運転していたところ、誤って前にいるご年配の方に衝突し、重傷を負わせた。



支払共済金
約1,295万円

飼い犬の事故

飼い犬が散歩中に、他人を噛んでケガを負わせた。



支払共済金
約37万円

除雪中の事故

自宅敷地内で手押しの除雪機で除雪中に、操作を誤り、駐車していた他人の自動車に損傷を与えた。



支払共済金
約23万円

JA共済連調べ

日常生活に伴う賠償リスクに備えるには…



日常生活賠償責任特約

支払限度額 2億円

示談交渉サービス付
家族全員が保障対象※1

※1 記名被共済者本人、配偶者、同居の親族、別居の未婚の子などが保障対象となります。
※本特約は自動車共済に付帯できる特約となります。

共済掛金

年間1,890円

ケガのリスク

草刈り作業中に草刈り機の操作を誤り、脚を切って入院(筋の損傷)



治療共済金額
5,000円×40倍

支払共済金
20万円

脚立でビニールハウス組立作業中にバランスを崩して転倒し、腕を骨折して入院



治療共済金額
5,000円×35倍

支払共済金
17.5万円

あぜ道で作業中に足を捻って捻挫し5日通院



治療共済金額
5,000円×5倍

支払共済金
2.5万円

農作業中のケガのリスクに備えるには…

普通傷害共済

ご契約例【1被共済者につき】

部位・症状別治療共済金額:5,000円、
死亡共済金額:500万円、共済期間1年、
年齢80歳以下、職業:農業、被共済者数1~9人

交通事故をはじめ、日常生活のケガのリスクも保障されます！

共済掛金

年間16,000円

安心して農業を営んでいただくためにも、農業を取り巻く2つのリスクに備えておきましょう！

【農業者賠償責任共済】お支払いには所定の条件があります。【日常生活賠償責任特約】住宅以外の不動産の所有、使用または管理を除きます。【傷害共済】職種により加入の制限があります。年齢により引受金額等の制限があります。共済掛金は全て令和6年4月時点。※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

お問い合わせ先

JA共済
JAきたそらち

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨電支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北電支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

[24010011061]

■発行/きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町字メム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
http://www.ja-kitasorachi.com ■編集/農業振興部 営農企画課 ■印刷/株式会社 須田製版